

STAND UP TAKE ACTION

AGAINST POVERTY AND FOR THE MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS



・また、都市部と農村部の違いは大きく、農村部だけを見ると、2000 年から 2012 年の間の出産 4000 万件のうち、専門家の支援を受けた出産は 800 万件でした。

【目標 6: HIV/エイズ、マラリア、その他の病気が広がるのを防ぐ】

＜ターゲット 6-A＞2015 年までに HIV/エイズのまん延を阻止し、その後、減少させる

- ・15 歳～49 歳の人で新たに HIV に感染する人の割合は、2001 年には 100 人あたり 0.10 人でしたが、2012 年には 0.06 人と約 3 分の 2 に減少しています。
- ・3 分の 2 になったとはいえ、いまだに年間 230 万人が新たに HIV に感染し、推計ではそのうち 7 割がエイズ関連の病気で死亡しています。

・マラリアでは対策により、2000 年から 2012 年にかけて 300 万人の子どもの命が救われました。

・結核では治療の実施により、1995 年から 2012 年の間に 2200 万人の命が救われました。

【目標 7: 環境の持続可能性を確保しよう】

＜ターゲット 7-C＞2015 年までに安全な飲料水と衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する

- ・改善された水源*を利用できる途上国の人の割合は、1990 年の 70%から 2012 年には 87%になりました。
- ・先進国も含めるとこの割合は、1990 年の 76%から 2012 年には 89%に増加し、この 22 年間で新たに 23 億人以上の人々が改善された水源を利用できるようになりました。
- ・トイレに関しては、改善されたトイレ*を使うようになった人が 1990 年から 2012 年の間に 20 億人増加しました。しかし、依然として 10 億人が屋外排泄*をしています。
- ・「改善された水源」：水道が引かれている、公共の貯水塔や掘り抜き井戸、汚染を防止した井戸や泉、雨水集積装置による水源のこと。「改善されたトイレ」：排泄物物が人間との接触がないよう衛生的に管理できるトイレ。

【目標 8: 世界の一員として、先進国「も」責任を果たそう】

- ・先進国の政府開発援助 (ODA) は、2012 年にかけて 6.1%増加しました。
- ・経済協力開発機構 (OECD) の開発援助委員会 (DAC) メンバー国からの援助は、2013 年には計 1348 億ドルに上り、過去最高を記録しました。
- ・国民総所得 (GNI) に対する 2012 年の DAC の ODA の割合 (最貧国に対するもの) は、0.09%と 2008 年以来最低を記録しました。
- ・1970 年国連では、先進国が果たすべき目標として GNI に占める ODA の割合を 0.7%以上にすることが決議され、「1970 年代半ば」までの達成を求めています。これまでに達成したことがある国は、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、オランダ、ルクセンブルク、イギリスのみです。
- ・DAC メンバー国からの ODA は、2010 年には GNI 比で 0.32%、2011 年 0.31%、2012 年 0.29%と減少しました。2013 年には 0.3%と増加に転じましたが、後発開発途上国 (LDC) と呼ばれる最貧国を直撃しています。
- ・2013 年のアフリカ (LDC48 カ国のうち 34 カ国が含まれる) への二国間援助は 5.6%減少しました。
- ・DAC の調査によれば、援助は最貧国とアフリカから大きな貧困人口を抱える中所得国へシフトし、返済が不要な援助から低利のローンへと移っています。

出典: (※) "World hunger falls, but 805 million still chronically undernourished" (Food and Agriculture Organization of the United Nations) <http://bit.ly/1BtGgEWK> その他は国連の報告書 *The Millennium Development Goals Report 2014* <http://bit.ly/1qDMdg9> (PDF 版)

STAND UP TAKE ACTION とは...

スタン・アップは、参加者が貧困解決を求める意志を示すために「立ち上がり」(STAND UP)、身近なところから行動する (TAKE ACTION) ことを呼びかけるキャンペーンです。2006 年から世界中で始まり、世界反貧困デー (10 月 17 日) が制定されている 10 月に、貧困問題解決、ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成に向けて行動するよう人々に呼びかけます。参加者 (貧困解決の意志を示していれば、座っていても構いません) の写真をウェブサイトに登録し、ひとつの「声」を作り、日本では「動く→動かす」が集計し、日本政府や国會議員などに人々の想いを届けています。2013 年は日本全国から 3 万 2600 人が立ち上がり、外務大臣政務官などに結果を報告して声を届けました。

国連ミレニアム開発目標 (MDGs) とは...

ミレニアム開発目標 (MDGs: Millennium Development Goals) は、「極度の貧困」に苦しみ人々の半減など具体的な数値目標と、2015 年という達成期限を定めた国際的な開発目標です。2000 年 9 月に開かれた国連ミレニアム・サミットを経て誕生しました。以前の経済成長と産業政策に焦点をあてた途上国支援は、貧困層の増加や格差の拡大など深刻な影響をおよぼしました。一方ミレニアム開発目標では、人間とその生活を中心に据えた支援に重点が置かれています。また MDGs には、貧困解消のために世界が一丸となって取り組むことを、世界のリーダーたちが人類史上はじめて約束したという大きな意義もあります。(裏面に MDGs の代表的ターゲットの現状を記載しています。) 別添 (ウェブサイトに上では別ファイル) の「MDGs ミニ説明の解説」もご覧ください

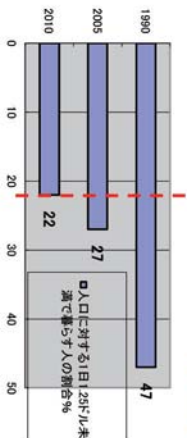
今年が最後のキャンペーン、ぜひご参加下さい。 <http://www.standup2015.jp>



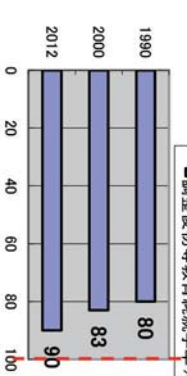
＊Goal 1～7 は MDGs の 21 のターゲットの一部で、途上国のデータです。Goal 8 は先進国のデータです。

Goal 1 極度の貧困と飢えをなくす

ターゲット 1-A：2015 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活する人の割合を 1990 年の水準の半分ににする

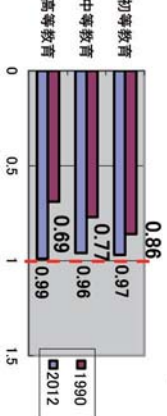


ターゲット 2-A：2015 年までにすべての子どもが初等教育の全課程を修了できるようにする



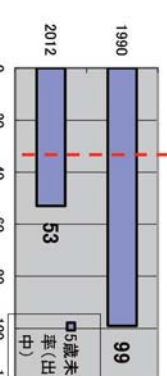
Goal 3 ジェンダー平等と女性の地位を向上

ターゲット 3-A：2015 年までにすべての教育レベルで男女格差を解消する



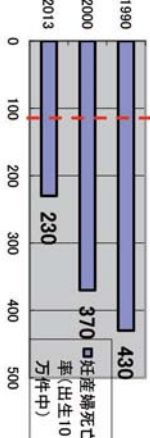
Goal 4 子どもの死亡率を下げる

ターゲット 4-A：2015 年までに 5 歳未満児の死亡率を 1990 年の 3 分の 1 に減らす



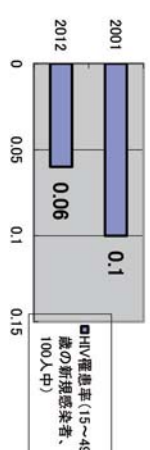
Goal 5 安心・安全な妊娠・出産の実現を

ターゲット 5-A：2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の 4 分の 1 に減らす



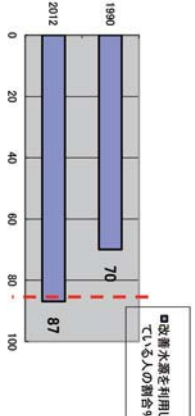
Goal 6 感染症の広がりを防ぐ

ターゲット 6-A：2015 年までに HIV/エイズのまん延を阻止し、その後、減少させる



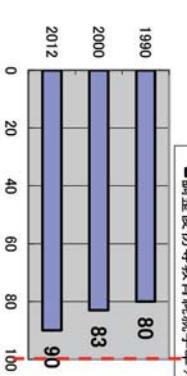
Goal 7 環境の持続可能性を確保する

ターゲット 7-C：2015 年までに安全な飲料水と衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する



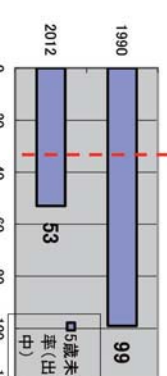
Goal 8 みんなが小学校に通えるようにする

ターゲット 8-A：2015 年までにすべての子どもが初等教育の全課程を修了できるようにする



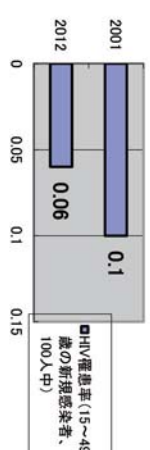
Goal 4 子どもの死亡率を下げる

ターゲット 4-A：2015 年までに 5 歳未満児の死亡率を 1990 年の 3 分の 1 に減らす



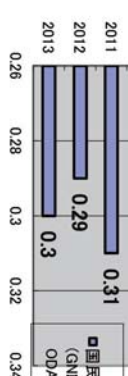
Goal 6 感染症の広がりを防ぐ

ターゲット 6-A：2015 年までに HIV/エイズのまん延を阻止し、その後、減少させる



Goal 8 先進国も責任を果たす

開発援助委員会メンバー国の援助



ミレニアム開発目標(MDGs)の現状 — ミニ解説

【目標 1: とても貧しい貧困と飢えをなくそう】

＜ターゲット 1-A＞2015 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活する人の割合を 1990 年の水準の半分ににする

・途上国で 1 日 1.25 ドル未満で暮らす人の割合は、1990 年の 47%から 2010 年には 22%に減少しました。

・この半減の達成には、中国の経済成長が大きな影響を及ぼしています。上記の途上国全体のデータから中国を除いたデータを見ると、1990 年は 41%で、2010 年は 26%となっており、半減には至っていません。

・人数で見れば、2010 年に極端な貧困状態で暮らす人は、1990 年に比べると 7 億人減少しました。

・このように状況は改善されていますが、現在でも 8 億 500 万人(※)、8 人に 1 人以上が飢餓状態にあります。

【目標 2: みんなが小学校に通えるようにしよう】

＜ターゲット 2-A＞2015 年までにすべての子どもが初等教育の全課程を修了できるようにする

・調整後初等教育純就学率とは、公式な初等教育就学年齢の子どものうち、初等教育または中等教育を受けている子どもたちの割合です。

・1990 年には 80%だったこの就学率は、2012 年には 90%となり、すべての子どもの就学に少しずつ近づいています。しかしこれは、いまだに 10 人に 1 人が小学校に通えていないという現実を示しています。

・初等教育就学年齢の子どものうち学校に行っていない子どもの数は、2000 年は 1 億人でしたが、2007 年には 6000 万人と大幅に減少しました。しかしその後のペースは鈍化し、2012 年では 5800 万人にとどまっています。

【目標 3: ジェンダーの平等を進めて女性の地位を向上させよう】

＜ターゲット 3-A＞2015 年までにすべての教育レベルで男女格差を解消する

・このグラフでは破線で示されている「1」が男女格差のないレベルです。

・2012 年のデータを見ると、初中等教育の各レベルで 0.96～0.99 と 1.00 までもう一步のところまで来ています。0.97～1.03 は、格差がないと言っても構わないレベルです。

・しかし、国や地域で大きな差があります。例えば、ササハラ以南のアフリカ諸国では 0.84、オセアニアでは 0.87 と、この 2 地域のみ 0.9 以下となっています。

【目標 4: 子どもの死亡率を下げよう】

＜ターゲット 4-A＞2015 年までに 5 歳未満児の死亡率を 1990 年の 3 分の 1 に減らす

・出生 1000 人あたりの 5 歳未満児死亡率は、1990 年の 99 から 2012 年には 53 と 46%も減少しました。しかし、目標である 33 まではまだ及びません。

・2012 年世界では、1 日 1 万 8000 人の子どものうちが予防可能な病気で 5 歳になる前に命を落としています。

【目標 5: 女性が健康な状態で妊娠し、子どもを産めるようにしよう】

＜ターゲット 5-A＞2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の 4 分の 1 に減らす

・出生 10 万件あたりの妊産婦死亡率は、1990 年の 430 から 2013 年には 230 と 46.5%も減少しました。しかしこれは、先進国の 14 倍という高い死亡率です。

・途上国では、医師、看護師、助産師といった医療の専門家の支援を受けて出産する女性の割合が先進国に比べて低く、1990 年は 56%でした。2012 年には増加しましたが、それでもまだ 3 人に 2 人(68%)です。